新潟教育会報

第79号
公益財団法人新潟教育会
（新潟教育会館内）
代表理事　高橋　雄一
〒950-8104
新潟市中央区西大畑町590番地3
TEL兼FAX　025-222-2971
URL.　http://kyouikukai.jp
E-mail　事務局　jimu@kyouikukai.jp
研究所　kenkyujo@kyouikukai.jp
休館日　月曜日

講師プロフィール

▼有限会社「金誠館」代表取締役。
▼旅館「金誠館」の他に「結婚式場」や「子供写真館」の経営に当たる傍ら、日本青年会議所北陸信越地区新潟ブロック協議会第41代会長として多くの実績を残した。
▼「天地人博」を実現させたり、郷土料理「きりざい」をご当地グルメとして取り上げたりするなど、市民主体の地域おこしの活動も行っている。また、地震が連続発生した際には、ボランティアセンターを立ち上げ運営に参画した。これらの実績が認められ、新潟県地域活性化大賞をはじめ数多くの賞を受賞している。

平成27年度　夏季大学講座

開催日時　8月8日（土）
会　　場　長岡リリックホール
講　　師　目黒　哲也　様
演　　題　「地方創生の鍵は？
～市民を動かし、
まちを元気にする～」

リーダーとして大切なこと

新潟大学教育学部附属新潟小学校
山田　耕世

「緊急時にどう動き、どうメンバーをまとめるか」「メンバーを信じ、メンバーの力に任せる」「若者と一緒になってこれからの南魚沼をつくっていきたい」

目黒氏の言葉は、リーダーとして何が大切であるかを示した言葉であった。

講演を聴き、周りの人の力を信じ、責任を委ねることの大切さ、共に汗をかきながら歩むことの大切さを考えさせられた。人が本来もっている力を湧き出させることが、リーダーとして大切な資質・能力の一つであると気付かされた。目黒氏の言葉を胸に、研鑽していきたい。

夏季大学講座に参加して

新発田市立豊浦中学校
高橋　秀明

『この町で生まれた子どもが、この町で生まれてよかったと思える町づくりをしよう』という強い思いから始まった、ボランティアによる地域活性の取組、成功までの苦労などを聞かせていただいた。

成功の秘訣は「志・情熱・挑戦」「人の絆」「地域資源の活用」であると感じた。この三つの言葉はそのまま学校現場にもあてはまると思う。

『生徒が卒業時、この学校の卒業生で良かった』と思える学校づくりを目指してがんばりたい、そういう気持ちを強くさせていただいた講演だった。

第41回　教育相談研修会

平成27年8月17日（月）～19日（水）
会　場　新潟会館
受講生　22人

気がかりな子ども、指導に苦慮する子ども、保護者等への教育相談的対応や支援方法。子ども・保護者との信頼関係づくり。ご自身の人間関係力の改善と向上に役立つ心理臨床カウンセリングの体験研修を二泊三日の日程で実施しました。

【受講生の声】

▼今回初めて教育相談の研修会に参加させていただきました。

この研修で学んだことは三つあります。一つ目は、自己理解です。自分の癖や傾向がよく分かりました。自分のいいように解釈をしてしまったり、リアクションが小さかったりと無意識にしていることを意識して理解できました。また、クローズな質問をしがちなので、オープンな質問で話を聞いていきたいと思います。

二つ目は、話すことの楽しさです。相手（聞き手）の受け方によって話すことは本当に楽しいと感じられました。話をもっとしたいと感じたのは、久しぶりかもしれません。

三つ目は、聞くことの難しさです。ただ一分間話を聞くだけでも難しいのだなと感じました。裏を返すと、それだけ話を自分が聞かず話をしていたのだと気付かされました。

教育相談で評価するのは、「カウンセラー」ではなく「クライアント」であることをしっかりと受け止め、クライアントの話をたくさん聞けるような実践をしていけるように頑張っていきたいと思います。三日間ありがとうございました。

▼昨年度は、ステップ1を受講させていただきました。ロールプレイを通し、グループの実践によって当事者と第三者の両方の視点から傾聴することを学びました。現場では、生徒・保護者・地域の方と様々な立場で人と接する機会が多いので、人間関係の確立や理解を進める上で大いに役立ちましたが、自分の力不足も同時に感じていました。ですから、今年度は、更なるスキルアップを目指して、ステップ2を受講することにしました。

どうしても自分の考えや思いを言いたくなってしまうのですが、ぐっとこらえあくまでもクライアントの話を聴き共感することを意識して取り組みました。

マイナス面の話が続いたとしても、クライアントの言いたいことが一段落するまでは、とにかく聴くこと、沈黙もクライアントの思考を巡らせる時間であることの大切さをしっかりと確認することができました。

まだまだ未熟ですが、学んだことを活かし、生徒や保護者・地域の方々と協力して、よりよい学校づくりに役立てたいと思います。ありがとうございました。

指導者
（敬称略順不同）

金子　智
齊藤　毅
小川　靖二
高久　義之
木澤　弘
山田　喜浩
佐藤　隆夫
村山　敬介
古田島真樹
門野　慎一
山口真希子
金平弘之郎
井筒　正之
近藤美弥子
中島　崇
庄司　宗由
仙田　満

来年度の研修会実施予定

8月18日（木）～20日（土）
新潟会館にて
二泊三日の日程
※最終日は、午前で終了

保護者のための　カウンセリング講座

平成27年9月6日（日）
会　場　新潟教育会館
保護者　6人

新潟市教育相談センターの山田友明氏を指導者として、保護者のためのカウンセリング講座を開きました。

【保護者の声】

▼日常生活の会話の中で、指示をすることが多かったりして、子どもが安心できていないことに気づきました。

また、何かの問題に直面した時、すぐに大人が入り解決させようとしてしまい、子ども自身が乗り越えないといけない所をじゃましてしまっていたことに反省です。今日実際に体験したコミュニケーションのとり方を日常でも実践したいです。

また、ほめられると嬉しく更に頑張ろうという気持ちになります。子ども達の良い所を少しでも言葉にしてほめ、自信をつけさせていきたいです。分かりやすいお話ありがとうございました。

第七回　教師力アップ講座

期　日　平成27年7月26日（日）
会　場　新潟教育会館

この講座の特徴は、参加型の研修、受講選択制の研修、すぐに役立つ研修の三つです。本年は、二講座を実施しました。講座内容等の詳細は、新潟教育研究所発行の「所報」をご覧下さい。

▼**第一講座**　※参加者　16人
「お話で寄り添う、心と心」
～お話から伝える、想像、表現、コミュニケーションの楽しさ～
講師　佐藤　伸　様
絵本作家

▼**第二講座**　※参加者　18人
「外国語活動にどう取り組むか」
講師　小林　恵子　様
新潟教育研究所教育アドバイザー

来年度の講座実施予定

7月24日（日）
新潟教育会館にて

特別支援教育助成金授与式

期　日　平成27年11月25日（水）
会　場　新潟教育会館

本年度の特別支援教育助成校六校に対する助成金授与式が開催されました。

該当六校は、各地区の特別支援教育担当指導主事から推薦されてきた学校（学級）の中から、選考委員会（9月）で審査され、理事会（10月）を経て決定されました。

この事業は、昭和47年以来続いているもので、助成した学校（学級）は、351校にのぼっています。

当会では、これからも県内の特別支援教育に努力されている学校（学級）に対する助成を継続したいと考えています。

平成27年度　特別支援教育助成校

小学校（3校）

	学校名	種別
1	長岡市立越路西小学校	発達障害通級指導教室（巡回校：越路小、越路中）
2	五泉市立五泉小学校	発達障害通級指導教室
3	新潟市立東曽野木小学校	知的障がい特別支援学級 自閉症・情緒障がい特別支援学級（2学級） 病・虚弱特別支援学級（院内）

中学校（3校）

	学校名	種別
1	糸魚川市立青海中学校	知的障害特別支援学級 自閉症・情緒障害特別支援学級
2	十日町市立中条中学校	自閉症・情緒障害特別支援学級
3	新潟市立白根北中学校	知的障がい特別支援学級 自閉症・情緒障がい特別支援学級

教育資料室からのお知らせとお願い

教育資料室運営について六回の検討会を行いました。検討内容は左記の三点です。

一、公益財団法人新潟教育会の資料室ならではの持つべき特色について
二、今後収集する資料と収集方法について
三、活用しやすい資料室運営について

一、現存資料で今後も資料室に保存する資料
（教育会のアイデンティティを語る資料を残し、保存する）

❶ 教育会の資料
教育会の設立、実施事業や運営等の資料、及び教育会にかかわる資料（現・元後援会員の著書、新潟大学教育学部教員の著書など）

❷ 教育史上の貴重な資料（時代の教育施策や教育実態を映すもの・推察できるもの、現在では手に入りにくいものなど）

❸ 教育関係諸機関の記念誌や名簿など

❹ 県内の師範学校にかかわる資料

⑤ 教育資料で且つ新潟県にかかわる資料（学校、地域、団体の研究紀要など）

二、今後収集・保存する資料と収集方法

①右記❶～❹の資料を収集する。（寄贈受入の広報）
②必要な資料は、所有者に打診し寄贈をお願いする。
③入手困難な資料は、必要に応じて購入も考える。

三、活用される資料室に向けて

① 保存する資料以外は他へ移動又は廃棄する。
② 蔵書データベースの作成と活用

右記「一の❶～❹」の図書資料を収集しています。

寄贈くださる方は、次の二点を了解の上、ご一報（電話、メールなど）願います。

○持ち込みや送付をされる前に、教育会事務局まで必ずご連絡をお願いします。
寄贈いただく際の確認すべき事項があります。
申し出られた資料のすべてをお引き受けできない場合があります。

○寄贈後の保管・管理・活用・廃棄など一切を教育会にお任せ願います。

「教美展」の主旨に沿う実りある展覧会となりました

教美展実行委員長
鈴木　明

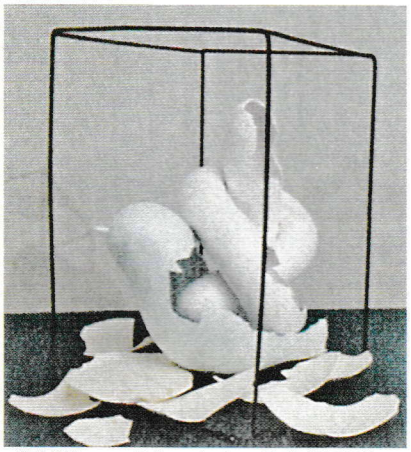
第19回教美展は、出品点数、来場者数共に増え、充実した展覧会となりました。レセプションには、ご来賓の方々をはじめ、出品者、実行委員の大勢の皆様からご出席頂きました。貴重なご意見や激励のお言葉を頂戴し、感激いたしております。

今回、現職の先生方からの出品は、全体の四分の一にあたる三十名の方々からありました。この教美展の主旨の一つは、図工・美術を通しての教師自らの資質、指導力の向上にあります。

苦労しながらの作品制作は、産みの苦しみでもあります。が、作品づくりにつまずき、悩む子どもたちの姿に自らの苦労を重ね合わせて指導に当たるとき、これまで見えなかった支援の在り方が見えてきます。子どもたちを共感的に受け止め指導にあたる現職の方々の広がりは頼もしい限りです。

また、今年も新潟大学の美術科の学生さんから展示作業にきて頂きました。気働きのある動きにとても感心しました。大学のカリキュラムの中に展示作業に関わることも含まれていると聞き「知識」を「知恵」にするうえでも大切なことであり美術教育の将来展望が広がりました。

実りある19回展の成果を次回に繋げて参りたいと思います。関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



（彫塑）　「内　包」　長谷川重雄

（写真）「古志黎明之図」　赤塚　一

（工芸）「空高し」　小林　美智

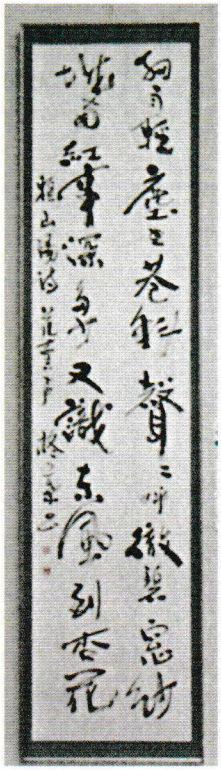
第19回

教　美　展

平成27年10月28日～11月３日
新潟県民会館ギャラリーA

（洋画）　「礼所遠望」　川島　和弘

（日本画）「工場の黄昏」　澁谷　敏雄



（書道）　漢詩頼山陽「花売声」　渡辺　和典

（版画）　「福島潟晩秋」　渡辺　欣次

来年度の予定

十一月二日（水）
～十一月七日（月）

あとがき

▼今号では、本年度計画していた事業のうち、これまで実施した事業の概要をお知らせしました。

▼「教美展」の作品写真は、解説会講師の作品を中心に、部門毎に一点を掲載しました。